

九条はらまち

「はらまち九条の会」会報 No.149

2010(平成22)年 9月23日(木)発行

<1954(平成29)年9月23日、「死の灰」を浴びた漁船の無線長久保山愛吉さんが死亡した>

邦人漁夫ビキニ原爆実験に遭遇



23名が原子病
一名は東大で重傷と診断
死の灰につけ遊び回る

▲1954年3月16日『読売新聞』世紀の一大スクープでした。

ですが、「忘れるのを待っている者」が増えているような昨今です。●その時の放射能は太平洋から日本にもアメリカ本土に拡大していたという報道が、今頃になってありました。

尖閣諸島問題、あなたはどうか考えですか？

9月、尖閣諸島沖で起きた中国漁船衝突事件での日中の対立。硬軟強弱の様々な意見や批判が噴出していますが、会員のみなさんはどうお考えでしょう。

会員の皆様のコメントは

- 「すぐに自衛隊の出動とか、軍備増強するべきだという人がいて恐ろしい。強い意見はかっこいいのですが戦争につながります」(60代男性)
- 「弱腰外交と批判されていますが、たしかに逮捕して釈放するタイミングは悪かった。初めから逮捕なんかしない方がよかった」(60代男性)
- 「中国は国家も国民も未成熟の国です。幼稚なのだから日本はムキにならずに国際世論に訴えるなど大人の外交をするべきです」(50代女性)
- 「元首相の安倍晋三さんが『政府は売国奴だ、内閣総辞職だ』とか、鳩山由紀夫さんが『私だったら話し合いで解決する』などと言っています。途中で政権を投げ出した人には言う資格はありません。顔も見たくない。マスコミもそういう人物にカメラやマイクを向けないで、もっとマシな方の意見を採り上げていただきたいものです」……(50代女性)
- 「アメリカはいざとなったら日本を見捨てることでしょ。もう日米安保などは意味がない。見直してもうやめる時期にきている。」……(60代女性)

▽野党の意見も様々です(10月1日付『朝日新聞』)



○「台湾を認めない中国が台湾に今まで進攻しなかったのは、台湾の軍事力と米軍の存在があったことが大きいに違いない。尖閣諸島に関し中国が強気なのは近年の自国の軍備増強が背景にあらう。外交は大事だが、こと領土問題については当事国の武力の差は交渉に多大な影響を与えよう。尖閣諸島をクローズアップして少なからざる政治家やマスメディアが防衛費増大を煽りたい、との向きもある。でも私は九条の普遍性が試されていると思う。」……(30代男性)

◎佐々木健次氏(仙台弁護士会)講演会

★主催:福島県立学校退職教職員九条の会

「沖縄と日本国憲法・日米安保条約」★協力券500円

○11月10日(木)13:30~16:00 ○福島市コラッセふくしま研修室



10月31日(日)

南相馬市議会議員選挙

＜右表＞のように、本会は微力ですが市議会に請願や要望などを行ってきました。今後も市民の安全と平和のために、議員さんが動いてくれることを期待したい。(本会を理解していただくため、各議員さんにこの会報を毎月郵送させていただいています。)

＜「はらまち九条の会」が南相馬市議会に働きかけたこと＞

2007(平成19)年5月、本会など市内4つの「九条の会」連名で、「憲法9条を護ることを求める意見書」を議会に請願。
同年11月6日総務常務委員会で賛成3:反対5で不採択。
同12月19日本会議最終審議で賛成10:反対13で不採択。
2009(平成21)年2月16日、本会など市内4つの「九条の会」連名で、合併で消滅した『核兵器廃絶平和宣言』を改めて行う要望書を議長と市長さんに提出。
2009年6月24日、議会は『核兵器廃絶平和都市宣言』(再宣言)を全会一致で行いました。

鳩とオリーブは平和の象徴

＜タバコの『ピース』の由来は＞

◆10月からのタバコ大幅値上げが話題になって報道されていますが、平和を願う「九条の会」としては『ピース(Peace平和)』というタバコについて考えてみました。

『ピース』は終戦直後の昭和二十一年一月に、平和な未来を願って発売されたタバコです。この「鳩とオリーブの葉」のパッケージデザインは、昭和二十七年四月から使用されていますが、それはサンフランシスコ平和条約締結と同時にでした。



◆JT日本たばこ産業株式会社が製造販売しているタバコの種類は106種。『ピース』は其中で「本格的バージニアブレンドタイプ・ほのかに甘く華やかな香りと深み」といわれていますが…

◆『ピース(Peace)』の「鳩とオリーブの葉」のデザインは、3千年も前に書かれた『旧約聖書』の有名な「ノア方舟(箱舟)」から採られています。
◆神は悪がはびこる世界を滅ぼそうと大洪水を起こします。しかし正直者のノアには箱舟の建設を命じ、ノアと家族、すべての動物のつがいだけは箱船のおかげで助かります。40日と40夜の大雨がやんだ後、ノアは鳥、その後鳩を放ちますが、とまるところもなく帰ってきます。7日後、もう一度鳩を放つとオリーブの葉をくわえて舟に戻ってきて、水が引き大地が表れます。神はもう大洪水を起こさないと約束し、その契約(旧約)の証が神のいる天と人間の住む大地を結ぶ「虹」です。
◆このことから「鳩とオリーブの葉」が平和の象徴となりました。◆デザイン担当は、パリ生まれでアメリカで活躍し「口紅から機関車まで」デザインしたレイモンド・ローウィ(映画『タイタニック』のモデル)。敗戦の日本を大洪水の後のようだとイメージしたそうです。デザイン料は150万円という高額で、当時大きな話題になりました。

◆国連旗も世界をオリーブの葉が囲んでいて、国連の一番の目的が「Peace 平和」であることを示しています。

③ 北極中心の正距方位図法の地図が描かれた国連旗



事務局より

◆「用紙」の会報「九条はらまち」は毎月、各会員に郵送していますが、「メール」で見るから「用紙」の会報はわざわざ送らなくてもいいです」という会員もおられるようです。メールのみご希望の方は、次へご連絡ください。
事務局 Eメール yamazakiken1@gmail.com

◆本会年会費のご納入、ありがとうございます。数年分の方もおられ、数千円となって恐縮です。勿論、会費は会計係で厳正に大事に遣わせていただいております。
◆会員の皆様からの投稿・ご意見・「戦争体験」をお待ちしています。

「はらまち九条の会」事務局連絡先 ○会長:平田慶肇 TEL0244-24-1211
○事務局長:山崎健一 〒975-0014 南相馬市原町区西町3-53-2 TEL22-8631
○会計:井上由美 TEL22-7511・FAX26-0892 ○石田賢二 TEL22-4037
○早坂吉彦 TEL22-0326 ○番場恵子 TEL22-0715



＜名歌＞「初々しき妻の裸体を描き残す 無言館に夕陽入り来る」梶原干津代
(「無言館むごんかん」は、長野県上田市にある戦没画学生慰霊美術館。無念のうちに戦死した美術の学生の遺作300余点を収集し展示していて、世界一悲しい美術館です。戦争はどれほどの多くの優秀な前途有為の若者の命を奪ったことか。言葉もありません。)